
SCIEX OS ソフトウェア 3.3.1

リリースノート



本書は SCIEX 機器をご購入され、実際に使用されるお客様にむけてのものです。本書の著作権は保護されています。本書および本書の一部分を複製することは、SCIEX が書面で合意した場合を除いて固く禁止されています。

本書に記載されているソフトウェアは、使用許諾契約書に基づいて提供されています。使用許諾契約書で特に許可されている場合を除き、いかなる媒体でもソフトウェアを複製、変更、または配布することは法律で禁止されています。さらに、使用許諾契約書では、ソフトウェアを逆アセンブル、リバースエンジニアリング、または逆コンパイルすることをいかなる目的でも禁止することがあります。正当とする根拠は文書中に規定されているとおりです。

本書の一部は、他の製造業者および/またはその製品を参照することがあります。これらには、その名称を商標として登録しているおよび/またはそれぞれの所有者の商標として機能している部分を含む場合があります。そのような使用は、機器への組み込みのため SCIEX により供給された製造業者の製品を指定することのみを目的としており、その権利および/またはライセンスの使用を含む、または第三者に対しこれらの製造業者名および/または製品名の商標利用を許可するものではありません。

SCIEX の保証は販売またはライセンス供与の時点で提供される明示的保証に限定されており、また SCIEX の唯一かつ独占的な表明、保証および義務とされています。SCIEX は、明示的・黙示的を問わず、制定法若しくは別の法律、または取引の過程または商慣習から生じるかどうかに関わらず、特定の目的のための市場性または適合性の保証を含むがこれらに限定されない、他のいかなる種類の保証も行いません。これらのすべては明示的に放棄されており、購買者による使用またはそれから生じる不測の事態に起因する間接的・派生的損害を含め、一切の責任または偶発債務を負わないものとします。

研究専用。診断手順には使用しないでください。

ここに記載されている商標および / または登録商標は、関連するロゴを含め、米国および / またはその他の特定の国における AB Sciex Pte. Ltd.、またはその該当する所有者の所有物です(sciex.com/trademarks をご覧ください)。

AB Sciex™ はライセンスの下で使用されています。

Echo、Echo MS、および Echo MS+ は、Labcyte, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスの下で使用されています。

© 2023 DH Tech. Dev. Pte. Ltd.



AB Sciex Pte. Ltd.

Blk33, #04-06 Marsiling Industrial Estate Road 3

Woodlands Central Industrial Estate, Singapore 739256

目次

| | |
|--|----|
| 1 はじめに..... | 4 |
| 2 バージョン 3.3.1 の新機能..... | 5 |
| バージョン 3.3.1 の新機能..... | 5 |
| 改良点..... | 5 |
| バージョン 3.3.1 の解決済みの問題..... | 9 |
| 3 使用上の注意と既知の問題..... | 12 |
| 使用上の注意..... | 12 |
| カスタマーセキュリティガイダンス: バックアップ..... | 14 |
| 一般的な問題..... | 15 |
| インストールの問題..... | 16 |
| 機器に関する問題..... | 17 |
| Agilent LC システムの問題..... | 18 |
| Echo [®] MS システム問題..... | 19 |
| ExionLC 2.0 システムの問題..... | 20 |
| ExionLC AC、ExionLC AD、および Shimadzu LC システムの問題..... | 21 |
| M5 MicroLC および M5 MicroLC-TE システムの問題..... | 23 |
| Waters LC システムの問題..... | 24 |
| 取得における問題..... | 24 |
| MS チューンワークスペースの問題..... | 30 |
| アナリティクスワークスペースの問題..... | 31 |
| エクスプローラワークスペースの問題..... | 35 |
| レポーターの問題..... | 37 |
| ライブラリワークスペースの問題..... | 37 |
| MS FW Updater に関する問題..... | 37 |
| Method Converter に関する問題..... | 37 |
| ライセンスサーバーの問題..... | 38 |
| お問い合わせ先..... | 39 |
| お客様のトレーニング..... | 39 |
| オンライン学習センター..... | 39 |
| SCIEX サポート..... | 39 |
| サイバーセキュリティ..... | 39 |
| ドキュメント..... | 39 |

ご利用のシステムの OS として、SCIEX をお選びいただきありがとうございます。以下のシステムをサポートする SCIEX OS ソフトウェア 3.3.1 をお届けします。

- ZenoTOF7600 システム
- X500R QTOF および X500B QTOF システム
- SCIEX 4500、5500、5500+、6500、6500+、および 7500 システム
- Echo[®] MS システム、次が含まれる SCIEX Triple Quad 6500 +システムおよび Echo[®] MS モジュール

SCIEX OS ソフトウェア 3.3.1 を使用すると、トリプル四重極、QTRAP、および TripleTOF システムから取得したデータを処理することもできます (Analyst ソフトウェア 1.6.2 以降、または Analyst TF ソフトウェア 1.7.1 以降で動作)

このドキュメントでは、ソフトウェアの機能について説明します。ソフトウェアをご利用になる際の参照用として、このリリースノートを常にお手元に保管してください。

バージョン 3.3.1 の新機能

2

このセクションでは、SCIEX OS ソフトウェア 3.3.1 の変更点について説明します。また、バージョン 3.3 で導入された新機能、機能強化、および修正も含まれています。以前のバージョンの SCIEX OS ソフトウェアの機能強化と修正を確認するには、次のドキュメントを参照: そのバージョンのソフトウェアに付属するリリースノート。

注: このバージョンのソフトウェアは、通知機能をサポートしていません。

バージョン 3.3.1 の新機能

装置

- SCIEX 6500 + システムのドライポンプ構成のサポートが追加されました。

取得

- QTRAP ライセンスがインストールされている QTRAP 4500、5500、6500、および 6500+システムと SCIEX 5500+システムでは、リニアイオントラップ (LIT) 機能の次のサポートを使用できます。
 - MS メソッド ワークスペースは、EMS、EPI、ER、MS³ などの LIT スキャンタイプと独立データ取得 (IDA) をサポートしています。
 - MS チューン ワークスペースは LIT モードでチューニングできます。
 - SCIEX OS ソフトウェアで作成した LIT メソッドを Analyst ソフトウェアで使用するために変換したり、Analyst ソフトウェアで作成した LIT メソッドを SCIEX OS ソフトウェアにインポートしたりできます。
 - Instrument Settings Converter は、Analyst ソフトウェアから QTRAP 機器の設定をインポートできます。
- EPI および MS³ スキャンで動的充填時間 (DFT) をサポートしています。

改良点

全般

- ソフトウェアは、X500 QTOF システムの新しい装置管理ユニット (ICU) をサポートします。
- ソフトウェアは、X500 QTOF システムの新しい TDC ドライバー、バージョン 1.1.1 をサポートします。
- ヘルプ システムは chm から html の形式に変換されました。
- 印刷テンプレートおよび印刷プレビュー機能は、監査証跡、イベントログ、LC メソッド、および MS メソッドワークスペースで使用できます。

MS メソッド ワークスペース

- **ガイド付き最適化**は、最も強度の高いフラグメントを除くすべてのフラグメントの化合物名に数字を付加する MRM メソッドを作成します。新しいオプションにより、ユーザーは最終的な MRM メソッドで元の化合物 ID を保持することを選択できます。(BLT-3900)

バッチ ワークスペース

- **重量/容量**フィールドは、バッチワークスペースで利用できます。
- **成分濃度**は、ブランク、ダブルブランク、溶媒、未知を含むすべてのサンプル タイプに追加できます。

キュー ワークスペース

- ユーザーは、キュー内のサンプルの名前またはデータ ファイルを変更できます。新しい権限、**サンプルの編集**、はこの機能へのアクセスを制御し、新しい監査イベント、**サンプルが編集されました**、は変更を記録します。

アナリティクス ワークスペース

- 定量テーブルを開いたり保存したりするのがより速くなります。
- **重量/容量**フィールドは、定量テーブルで利用できます。新しい権限 **重量/容量の変更**は、ユーザーがこのフィールドを変更できるかどうかを制御し、新しい監査イベント **重量/容量が変更されました**は、変更を記録します。
- 複数のペインを印刷できます。
- ピークレビューペインの印刷プレビューには、最大 1,000 個のグラフが表示されます。
- 新しい条件検索機能を使用すると、別の列の値に依存する値を含む新しい列を追加できます。
- 計算列の計算機の数式では、次の新しい関数を使用できます。
 - **CEILING**: 定量テーブルの値または指定した数値以上の最小の整数を取得します。
 - **EXP**: 指定した e の累乗で取得します。これは、定量テーブルの列の値または指定した数値になります。
 - **FIND**: 標準またはカスタムの定量テーブル列のテキスト内の指定された文字の位置を取得します。
 - **FLOOR**: 定量テーブルの値または指定された数値以下の最大の整数を取得します。
 - **GETSAMPLE**: 選択したタイプのサンプルの標準またはカスタムの定量テーブル列から値を取得します。
 - **GETSAMPLECLOSEST**: ユーザーが指定した値に最も近い値を持つ、選択した型のサンプルの標準またはカスタムの定量テーブル列から値を取得します。
 - **GETSAMPLECLOSESTLOW**: ユーザー指定の値以下の値を持つ、選択したタイプの最も近いサンプルの標準またはカスタムの定量テーブル列から値を取得します。
 - **GETSAMPLECLOSESTHIGH**: ユーザー指定の値以上の値を持つ、選択したタイプの最も近いサンプルの標準またはカスタムの定量テーブル列から値を取得します。

- **GETSAMPLEEQUAL**: ユーザーが指定した値に等しい値を持つ、選択した型のサンプルの標準またはカスタムの定量テーブル列から値を取得します。
- **IN**: 要素が値のセットに含まれるかどうかを識別します。
- **ISNUMBER**: 定量テーブルのセルの値が数値または数値以外であることを識別します。
- **LEFT**: テキストの先頭から指定した文字数を取得します。
- **LOG**: 定量テーブルの列の値または指定された数値の対数を取得します。
- **LOG10**: 定量テーブルの列の値または指定された数値の 10 を底とする対数を取得します。
- **POW**: 指定された数値を指定された乗で取得します。これは、定量テーブルの列の値または指定された数値になります。
- **RIGHT**: テキストの末尾から指定された文字数を取得します。
- **ROUND**: 指定した定量テーブル列の数値、またはユーザーが指定した数値を、最も近い整数、または指定した小数点以下の桁数に丸めます。関数名では大文字と小文字が区別されません。
- **SEARCH**: 標準またはカスタムの定量テーブル列のテキスト内の指定された文字の位置を取得します。
- **SQRT**: 定量テーブルの列の値または指定された数値の平方根を取得します。
- **SUBSTITUTE**: 標準またはカスタムの定量テーブル列の英数字値を別の英数字値に置き換える列を定量テーブルに作成します。
- **TRIM**: テキストから余分なスペースを削除します。単語を区切るスペースを除き、先頭、末尾、および内部のすべてのスペースが、標準またはカスタムの定量テーブル列から削除されます。
- **TRUNCATE**: 定量テーブル列の数値の整数部分を取得します。
- 次の新しい関数は、式ページのサイレントモードで使用できます。つまり、関数は手動で入力できます。
 - **ACOS**: 定量テーブル列または指定した数値の値である余弦との角度を取得します。
 - **ASIN**: 定量テーブル列または指定した数値の値である正弦との角度を取得します。
 - **ATAN**: 定量テーブルの列または指定した数値の値である逆正接との角度を取得します。
 - **COS**: 角度の余弦を取得します。これは、定量テーブルの列の値または数値として指定できます。
 - **IEEEREMAINDER**: 定量テーブルの列または数値を定量テーブルの列または数値で除算した結果の剰余を取得します。
 - **SIGN**: 指定された定量テーブル列の値または指定された数値の符号を識別する値を取得します。
 - **SIN**: 正弦と角度を取得します。定量テーブルの列の値または数値として指定できます。
 - **TAN**: 角度の正接を取得します。これは、定量テーブルの列の値または数値として指定できます。

構成 ワークスペース

- 次のユーザー権限が追加されました。
 - アナリティクス ワークスペース: **重量/容量の変更**
 - キュー ワークスペース: **サンプルの編集**

監査証跡 ワークスペース

- 監査証跡には、次のイベントの追加詳細が表示されます。
 - プロジェクト監査証跡:
 - アナリティクス ワークスペース
 - **処理メソッドが保存されました**
 - **プロジェクトのデフォルト設定が変更されました**
 - バッチ ワークスペース
 - **バッチが保存されました**
 - **バッチが送信されました**
 - エクスプローラ ワークスペース
 - **印刷**
 - MS メソッド ワークスペース
 - **MS メソッドが保存されました**
 - LC メソッド ワークスペース
 - **LC メソッドが保存されました**
 - キュー ワークスペース
 - **サンプル測定の完了**
 - **サンプルの測定開始**
 - ワークステーション監査証跡:
 - エクスプローラ ワークスペース
 - **印刷**
- 次の監査イベントが追加されました。
 - プロジェクト監査証跡:
 - アナリティクス ワークスペース: **重量/容量が変更されました**
 - キュー ワークスペース: **サンプルが編集されました**
 - ワークステーション監査証跡:
 - キュー ワークスペース: **サンプルが編集されました**

デバイスサポート

- SCIEX OS 3.3.1 ソフトウェアでは、Agilent デバイス用のカスタム インジェクタ プログラムのサポートが追加されています。(ONYX-23774)

トラブルシューティング

- トラブルシューティングに役立つ詳細情報がサービス パッケージに追加されました。(MSCS-3022)

バージョン 3.3.1 の解決済みの問題

このバージョンには、次の問題の修正が含まれています。

- アナリティクスワークスペースで、サンプルを手動または自動処理で既存の定量テーブルに追加すると、一部のサンプルが定量テーブルに表示されず、使用可能なサンプルのピークレビューペインが空になります。(BLT-5449)
- PDA 検出器がアクティブな場合、**サンプル測定の完了およびサンプルの測定開始イベント**はプロジェクト監査マップに記録されません。(BLT-5421)
- MS メソッドを印刷すると、質量テーブルパラメータの一部が切り取られます。(BLT-5459)
- ピークレビューペインの統合パラメータがコンポーネントに対して変更され、その変更が関連グループに適用される場合、質量テーブルの保存後に一部の統合パラメータの値が 0.0 に変更されます。(BLT-5497)

このバージョンには、バージョン 3.3 の次の修正も含まれています。

MS メソッド ワークスペース

- SCIEX7500 システムの Scheduled MRM (sMRM)アルゴリズムで取得されたデータの保持時間ウィンドウは正しくありません。(BLT-4472)
- 質量分析装置が Analyst ソフトウェアのハードウェア プロファイルの最初のデバイスではない場合、Analyst ソフトウェアで作成された取得メソッドの変換は失敗します。(BLT-4504)
- Scout triggered MRM (stMRM)アルゴリズムが使用されている場合、**トリガーチェック ボックス**がオンになっていると、ドウエルタイムが正しく計算されません。(BLT-4779)
- サブフォルダにデータを取得できません。(BLT-4933)
- ネットワーク取得を使用している場合は、ネットワークフォルダにデータは保存されません。(BLT-4991、BLT-5099)
- ルートディレクトリがネットワークフォルダの場合、ガイド付き MRM はルートディレクトリをローカルフォルダに変更します。(BLT-5112)
- MS メソッドを別のプロジェクトに保存することはできません。(BLT-5183)
- Q1-IDA ループ実験では、設定時間を 15 ミリ秒に設定することはできません。(ONYX-15511)

バッチ ワークスペース

- **自動インクリメントコマンド**を使用すると**サンプルタイプ**が変更されます。(BLT-4706)

バージョン 3.3.1 の新機能

- 0.0001 未満の成分濃度はコピー&ペーストできません。(BLT-4843)
- SCIEX OS ソフトウェアを閉じてから再度開くと、イオン参照表エディタダイアログの Csl の使用チェックボックスがオフになります。(BLT-4948)
- ラック位置、プレート位置、およびバイアル位置 は決定ルールの構成ダイアログでは使用できません。(BLT-4981、BLT-5262)
- 成分濃度はバッチの印刷時に切り捨てられます。(BLT-5147)

キュー ワークスペース

- データベースエラーによりキューワークスペースを開けなくなります。(BLT-4777)

MS チューン ワークスペース

- データファイルの名前は、装置チューニングレポートには含まれません。(BLT-4795)
- MS チェックボタンは英語以外の言語では使用できません。(BLT-4896)
- 装置チューニングレポートでは、導入ステップが不完全として表示されます。(BLT-4967)

アナリティクス ワークスペース

- カスタム式をインポートすると、編集できなくなります。(BLT-4497)
- 英語以外の地域設定でデータをエクスポートする場合は、英語の番号形式が使用されます。(BLT-4682)
- 統合が変更されると、メトリックプロット ペインにエラーが表示されます。(BLT-4755)
- データの再処理に失敗しました。(BLT-4862)
- MS/MS スペクトルのないコンポーネントに対してユーザーが ChemSpider セッションを開くと、エラーが表示されます。(BLT-4876)
- 異なる地域設定で作成されたカスタムフラグルールはインポートできません。(BLT-4877)
- SCIEX OS ソフトウェアが中国語用に設定されている場合、オプション > 検索コマンドは正しく動作しません。(BLT-4895)
- 検量線ペインの印刷時には、印刷テンプレートは適用されません。(BLT-5069)
- For Each Sample ループを含むカスタムテンプレートを使用するレポートにデータがありません。(BLT-5093)
- 化合物の種類は人工ではなく合成である必要があります。(BLT-5125)

エクスペローラ ワークスペース

- 表示 > LCトレースはネットワークドライブ上のデータには使用できません(BLT-4558)
- サンプル情報 ペインでは、スプレー電圧(V) が MS メソッドで陰性である場合に陽性として表示されます。(BLT-4730)

ライブラリ ワークスペース

- ライブラリデータベースの dembrexine の式が正しくありません。(BLT-3836)

LC 装置

- Agilent システム : ポンプのステータスはデバイス詳細ダイアログに表示されません。(BLT-4215)
- Agilent システム : カスタム注入を含む LC メソッドを編集して保存すると、カスタム注入情報は保持されません。(BLT-4986)

Echo[®] MS システム

- AE メソッドにダイバータバルブが含まれている場合、ステータスパネルに表示される取得時間が不正確になり、ピークが分割されません。(BLT-4639)

トラブルシューティング

- トラブルシューティングに必要な情報がサービス パッケージに含まれていません。(BLT-3512、BLT-4957)

使用上の注意

- 規制対象のお客様:ソフトウェアの検証後にユーザー管理設定をインポートする場合は、内部の変更管理プロセスに従って構成の変更を文書化することをお勧めします。
- アナリティクスワークスペースで使用されるレポート テンプレートを作成、開き、編集するには、Microsoft Office 2013、2016、または 2021 (32 ビットまたは 64 ビット) が必要です。
(BLT-4838)

注: この SCIEX OS ソフトウェアは、アナリティクスワークスペースで使用されるレポート テンプレートの作成、開く、編集を除くすべての機能について Microsoft Office 365 と互換性があります。

注: LTSB/LTSC Windows 10 オペレーティング システムを搭載した Alpha および SCIEX ワークステーションは、Microsoft Office 365 と互換性がありません。

- SCIEX OS は、データ取得中に Windows Defender や Windows Update などの Windows サービスやウイルス対策ソフトウェアを停止してパフォーマンスを最適化するように設定できます。このオプションを使用しないと、パフォーマンスまたはデータの問題が発生する可能性があります。データ取得が行われていないときに更新とウイルス スキャンが実行されるようにスケジュールを設定します。
- SCIEX OS ソフトウェアによって制御されていない LC システムでは、サンプルがない場合、バッチは停止します。バッチが不足しているサンプルをスキップして次のサンプルを続行する機能は、SCIEX OS ソフトウェアによって制御される LC システムでのみサポートされます。
(BLT-4922)
- パフォーマンスの問題やデータの破損を防止するため、サンプル取得中にはデフラグやディスククリーンアップなど、コンピュータのメンテナンス手順を実行しないでください。
- カスタム列を含むデータは、SCIEX OS ソフトウェア 2.1.6 以前で取得したデータファイルに追加することはできません。
- MultiQuant ソフトウェアファイル (qmethod、qsession および cset) は、アナリティクス SCIEX OS ワークスペースで開けることも使用することもできません。ただし、MultiQuant ソフトウェアで作成され、テキスト ファイルにエクスポートされたメソッドは、アナリティクス ワークスペースにインポートできます。
- 非ターゲットワークフローの場合、定量テーブルは 150,000 行に制限する必要があります。定量テーブルがこのサイズを超えると、SCIEX OS ソフトウェアのパフォーマンスが著しく低下します。
- AutoPeak 積分アルゴリズムを使用する場合、ユーザーは特定の定量テーブル内のコンポーネントのコンテキストで計算されたすべてのパラメータを考慮する必要があります。ソフトウェアは各コンポーネントの AutoPeak モデルを作成し、このモデルはコンポーネントのすべてのサンプルに使用されます。自動ピーク非対称の計算パラメータは、コンポーネントの AutoPeak モデルのスキューに対する特定のコンポーネントのスキューの比率を示します。(BLT-2030)

- SCIEX OS ソフトウェアがデータファイルを取得する際に、Analyst ソフトウェア内でデータファイルを処理しないでください。これを行うとソフトウェアが不安定となり、データが失われる恐れがあります。(ONYX-8514)
- Watson LIMS へのデータ転送中、ユーザーは転送が正常に完了するまで待機する必要があります。転送が完了したら、ユーザーは SCIEX OS ソフトウェアで**確認**をクリックする必要があります。転送が完了する前に**確認**をクリックすると、転送のステータスが `Failed` と表示されます。

ネットワーク取得

- ネットワーク取得中に ClearCore2 サービスが中断されると、中断時に取得中のサンプルの一部のサンプルデータは、データファイルに書き込まれません。ローカル取得中にサービスが中断された場合、サンプルデータの一部がデータファイルに書き込まれますが、破損としてマークされます。ClearCore2 サービスが中断された場合、自動トリガー処理と決定ルール処理も失敗します。
- 次の方法により、ユーザーはネットワークリソースを取得しながら、エクスプローラワークスペースでデータをリアルタイムで表示できます(DS-1873):
 - SCIEX OS ウィンドウ下部のデータ取得パネルを開きます。
 - キューワークスペースで、取得中のサンプルをダブルクリックして開きます。

注: エクスプローラ ワークスペースでサンプルを開いたままにしておくと、サンプルがネットワークリソースに移動された後、次のメッセージが表示されます: `File not found message`.

ExionLC 2.0 システム

- 溶媒レベルの監視が使用されている場合は、現在のボリュームが正しいこと、および適切な警告レベルとシャットダウン レベルが各バッチ取得の前にデバイスの制御またはデバイス詳細ダイアログで設定されていることを確認してください。移動相の補充のためにサンプル取得中に現在の容量を更新する必要がある場合は、デバイス詳細ダイアログにあるポンプの溶媒レベルパネルを使用します。
- サンプルトレイにサンプルをロードするときは、ソフトウェアのプレートレイアウトに従ってください。次のドキュメントを参照: *ExionLC 2.0 システムハードウェアユーザーガイド*。
- ダイオードアレイ検出器 (DAD または DAD-HS) は、多波長検出器 (MWD) と同時にデータ取得に使用することはできません。DAD と MWD の両方で LC システムを構成しないでください。
- ExionLC 2.0 DAD (DAD または DAD-HS)、および MWD では、10Hz 以下のサンプリングレートのみがサポートされます。サンプリングレートが 10Hz 以上の LC メソッドは保存されません。
- DAD メソッドを作成する際には、3D データモードを選択していない場合でも、2D データチャンネルの波長および波長プログラムの波長が、3D データモードで定義された波長範囲内であることを確認してください。

ExionLC AC、ExionLC AD、Shimadzu システム

- カラム オープンの待ち時間が 0 の場合は、オープン電源が入っているときにオープンが `READY` であることを意味します。待ち時間を 0 に設定すると、カラムが設定温度に達する前に注入が開始されます。(ONYX-14923)

Echo® MS システム

- MS Method が作成される時、**スプレー電圧デフォルト**は 4500 V です。

注: オープンポートフェイス (OPI) 電極アセンブリの寿命を最大化するために、5000 V 以下の値を使用することをお勧めします。

- ピークが狭いため、トランジションの数を最小化することをお勧めします。各 MRM メソッドでは、スキャン時間が 100 ミリ秒の場合、最大で 4 回のトランジションを行うことをお勧めします。
- 複数のバッチでデータや結果のファイルに同じ名前を使用しないでください。それぞれの新しいバッチに使用するデータと結果のファイルは、必ず新しいものにしてください。
- バッチワークスペースの**注入量列**に入力された値は、AE メソッドで指定された排出量に置き換わりません。

Instrument Settings Converter

- 機器の設定を Analyst ソフトウェアから SCIEX OS ソフトウェア 3.3.1 に転送する場合は、必ず SCIEX OS ソフトウェア 3.3.1 のインストール パッケージに含まれている Instrument Settings Converter を使用してください。

SCIEX OS to Analyst Software Method Converter

- SCIEX OS ソフトウェア メソッドを Analyst ソフトウェア メソッドに変換する際には、SCIEX OS ソフトウェア 3.3.1 のインストール パッケージに含まれる SCIEX OS to Analyst Software Method Converter のバージョンを必ず使用してください。
- Analyst ソフトウェアで作成されたメソッドの固定充填時間パラメータの値が 1 以外であり、SCIEX OS ソフトウェアで使用するために変換される場合、固定充填時間パラメータは変換されます。ただし、SCIEX OS ソフトウェアでは、固定充填時間パラメータは無視されます。その結果、強度 (TIC またはスペクトル) は SCIEX OS ソフトウェアと Analyst ソフトウェアで異なります。
- Analyst ソフトウェアで作成された MS³ メソッドの変換後、目的の化合物に合わせて AF2 パラメータを最適化することをお勧めします。

カスタマーセキュリティガイダンス: バックアップ

顧客データのバックアップは、顧客の責任です。SCIEX のサービスおよびサポート担当者は、顧客データのバックアップに関するアドバイスや推奨事項を提供する場合がありますが、お客様のポリシー、ニーズ、規制要件に従ってデータを確実にバックアップするかどうかは、お客様次第です。顧客データのバックアップの頻度と範囲は、組織の要件および生成されるデータの重要度に応じて決定する必要があります。

バックアップはデータ管理全体の重要なコンポーネントであり、悪意のある攻撃、ハードウェア障害、またはソフトウェア障害が発生した場合の復元に不可欠であるため、お客様はバックアップが機能することを確認する必要があります。データ取得中は、コンピュータのバックアップを取得しないでください。また、取得中のファイルがバックアップソフトウェアによって無視されるようにしてください。セキュリティアップデートのインストールやコンピュータの修理を行う前に、コンピュータの完全なバックアップを作成することを強くお勧めします。これにより、セキュリティパッチがアプリケーションの機能に影響を与えるというまれなケースでも、ロールバックが容易になります。

一般的な問題

| 問題 | 注意事項 |
|---|--|
| <p>コンテンツは、翻訳されたユーザーインターフェイスで英語で表示されます。</p> | <p>翻訳されたコンテンツの更新は、将来のリリースで提供される予定です。</p> |
| <p>SCIEX 7500 システム:長いファイルパス (129 文字以上) のデータは、Analyst ソフトウェア 1.7.2 または Analyst ソフトウェア 1.6.3 ソフトウェアと HotFix 5 を使用して処理することはできません。さらに、このようなデータ ファイルのファイル情報は、Analyst ソフトウェア 1.7.2 または HotFix 5 を適用した Analyst ソフトウェア 1.6.3 では完全に表示できません。(AN-2250)</p> | <p>この問題を回避するには、アナリティクス SCIEX OSSCIEX OS ワークスペースを使用してデータを処理するか、ファイルパスを短くしてください。</p> |
| <p>ガイド付き MRM を使用した MS チューンワークスペースまたは MS メソッド ワークスペースでチューニング中に作成されたレポート (xps) ファイルを開くことができません。Windows は、このタイプのファイルを開くことができないと報告しています。(BLT-1409)</p> | <p>この問題は、Microsoft XPS ビューアがコンピュータにインストールされていない場合に発生します。ビューアは、SCIEX OS ソフトウェアのインストールパッケージに含まれています。インストールするには、次の手順に従います:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 管理者としてコマンドプロンプトを実行します: <ol style="list-style-type: none"> a. Windows タスクバーのここに入力して検索フィールドに cmd と入力します。 b. 管理者として実行をクリックします。 2. 管理者:コマンドプロンプトウィンドウで、次のコマンドを入力し、入力を押します。 <pre>dism /online /norestart /add-package /packagepath:"C:\Program Files\SCIEX\SCIEX OS\Microsoft-Windows-Xps-Xps-Viewer-Opt-Package~31bf3856ad364e35~amd64~~.cab"</pre> <hr/> <p>注: コマンド全体を 1 行で入力します。</p> <p>XPS ビューアがインストールされると、進捗バーが表示されます。</p> 3. インストールが完了したら、コマンドプロンプトを閉じます。 |
| <p>ガイド付き MRM とチューニングは、ユーザーがそれぞれ MS メソッドまたは MS チューンワークスペースを閉じても停止しません。(ONYX-8450)</p> | <p>質量分析装置のステータスは、質量分析装置が実行中であり、取得ジョブがキューに存在することを示しています。</p> |

使用上の注意と既知の問題



| 問題 | 注意事項 |
|--|--|
| プロジェクトが SCIEX OS ソフトウェアで開かれているときにファイル エクスプローラーで削除された場合、ユーザーは SCIEX OS ソフトウェアでプロジェクトを参照できません。(ONYX-24604) | エクスプローラーでプロジェクトを削除した後、SCIEX OS ソフトウェアを閉じてください。 |

インストールの問題

| 問題 | 注意事項 |
|--|--|
| ExionLC 2.0 システムドライバーはソフトウェアのアップグレード中に削除されません。(TPUB-2124) | アップグレードが完了したら、ExionLC 2.0 システムドライバーを再度インストールします。 |
| Shimadzu および SCIEX OS の AC/AD システムドライバーのみがインストールされている場合、ExionLC ソフトウェアは起動しません。(ONYX-20839) | この問題を回避するには、すべての LC ドライバー (Agilent、Shimadzu/ExionLC AC/ExionLC AD、および ExionLC 2.0 システム用) をインストールします。 この問題が発生した場合は、ファイルを削除します： C:\ProgramData\SCIEX\Clearcore2.Acquisition\HardwareProfile.hwp。このファイルを削除すると、ソフトウェアは正常に開きます。 |
| SCIEX OS インストールプログラムの Modify オプションでインストールを変更すると、ソフトウェアが開きません。(SXOSLNT-708) | この問題を回避するには、 Modify オプションを使用する前に、すべての装置を非アクティブにします。 装置がアクティブなときに SCIEX OS ソフトウェアがインストールされた場合は、ファイルを削除します： C:\ProgramData\SCIEX\Clearcore2.Acquisition\HardwareProfile.hwp。このファイルを削除すると、ソフトウェアは正常に開きます。 |
| インストールされたモジュールがライセンスと一致しない場合、問題が発生します。(SXOSLNT-1009) | インストールされているモジュールがライセンスと互換性があることを確認します。インストールされていない場合は、ソフトウェアを削除し、正しいモジュールを選択して再インストールします。 |

| 問題 | 注意事項 |
|--|---|
| <p>装置が設定されている場合、SCIEX OS-Q と SCIEX OS-MQ は開きません。(SXOSLNT-1037)</p> | <p>この問題は、SCIEX OS ソフトウェアが取得モジュールとともにインストールされ、装置が設定された後、SCIEX OS ソフトウェアが削除され、処理モジュールだけがインストールされた場合に発生します。</p> <p>この問題を解決するには、次の手順に従います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. SCIEX OS-Q または SCIEX OS-MQ ソフトウェアを削除します。 2. SCIEX OS ソフトウェアをインストールし、設定されている装置を削除します。 3. SCIEX OS ソフトウェアを削除します。 4. SCIEX OS-Q または SCIEX OS-MQ ソフトウェアをインストールします。 |

機器に関する問題

| 問題 | 注意事項 |
|---|--|
| <p>シリンジポンプの  (直接デバイス制御) ボタンが有効でないため、質量分析装置がスタンバイステータスの場合、ユーザーはシリンジポンプを始動できません。(BLT-2698)</p> | <p>データ取得またはチューニング手順を開始するには、 (直接デバイス制御) ボタンを有効にします。</p> |
| <p>CDS などの機器に故障状態が発生しても、右ステータスパネルのスタンバイボタンがアクティブにならないため、ユーザーがエラーをクリアできなくなる。(MSCS-1314)</p> | <p>この問題が発生した場合は、Direct Control で 開始 をクリックして、CDS のステータスを Fault から Running に変更し、CDS の故障状態をオフにします。</p> |
| <p>LC システムのデバイス詳細ダイアログに情報がない。(ON-2069)</p> | <p>この問題は、Windows のリージョン設定が English (United States) 以外の形式に設定されている場合に発生します。このエラーを回避するには、ドキュメント <i>Software Installation Guide</i> の指示に従って Windows を構成します。</p> |

使用上の注意と既知の問題

| 問題 | 注意事項 |
|---|---|
| <p>リモートデスクトップアプリケーションを使用して取得コンピュータにアクセスすると、次の問題が発生する可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> LC メソッドワークスペースでは、一部のパラメータが表示されません。 LC システムの詳細ステータスダイアログで、一部の LC パラメータが表示されない。 <p>(ONYX-7153/ONYX-8185)</p> | <p>この問題は、ユーザーが取得コンピュータからログオフせずにリモートデスクトップセッションを切断して再接続した場合に発生します。リモートデスクトップを実行しているコンピュータが、Windows の表示設定で Make everything bigger が 100% 以上に設定されている場合に発生します。この問題を解決するには、Make everything bigger を 100% に設定します。</p> |
| <p>取得コンピュータがシャットダウンされても、装置はシャットダウンされません。 (ONYX-7677)</p> | <p>取得コンピュータをシャットダウンする前に、装置をシャットダウンします。</p> |
| <p>接点閉鎖を使用している場合、MS 法とバルブ法が同時に終了すると、ダイバータバルブは運転終了時にタイムテーブルで定義された位置に変更されません。 (ONYX-7952)</p> | <p>メソッドのタイムテーブルの最後にバルブ位置を設定しないでください。</p> |
| <p>SCIEX OS ソフトウェアは、チューニング中に外部シリンジポンプを自動的に開始および停止しない。(ONYX-8459)</p> | <p>チューニング手順を開始する前に、シリンジポンプを手動で停止および開始します。</p> |

Agilent LC システムの問題

| 問題 | 注意事項 |
|--|---|
| <p>オートサンプラーではハイスループット設定はサポートされていません。 (ACQ-529)</p> | <p>ハイスループット設定は現在サポートされていません。</p> |
| <p>ポンプ圧力が LC 法で設定された最大値を超えても、ポンプの状態は故障に変わりません。(ACQ-1712)</p> | <p>圧力が設定された最大値に達するまでフローは停止し、再び最大値に達するまで再開されます。ポンプの状態は変化しません。</p> <p>LC メソッドの流量を調整します。</p> |
| <p>LC グラジエントグリッドの流量をコピーすると、小数点記号としてのコマが無視されます。(ACQ-2191)</p> | <p>これは Agilent LC の問題です。この問題を回避するには、手動で流量を入力し、コマを小数点記号として使用してください。</p> |
| <p>機器が有効化の最中に故障状態になっても、その故障状態が正しく反映されません。(ACQ-2195)</p> | <p>この問題を回避するには、機器の障害をクリアし、Agilent 機器を一度無効化してから再度有効化します。</p> |

| 問題 | 注意事項 |
|---|--|
| LC メソッドワークスペースでは、Agilent オートサンプラーに対して Overlap Injection Cycle を設定できません。 (BLT-4714) | 該当なし |
| Agilent G7121B 1260 Infinity II FLD スペクトルモジュールからのリアルタイム DAD データは、spectrum モードが Apex または All in Peak に設定されている場合は記録されません。(ONYX-4998) | Apex および All in Peak スペクトルモードはサポートされていません。別のモードを使用してください。 |
| Signal A Excitation が Zero Order に設定され、 PMT Gain ゲインが 6 より大きい値に設定されている場合、Agilent G7121B 1260 Infinity II FLD スペクトルモジュールが使用されているとき、システムは読み込み中または平衡状態のままです。(ONYX-4999) | Signal A Excitation が Zero Order に設定されている場合、 PMT Gain を 6 以下に設定します。 |

Echo[®] MS システム問題

| 問題 | 注意事項 |
|--|--|
| プレートレイアウトダイアログでエントリを削除しても、行はバッチワークスペースから削除されず、一部のフィールドが残ります。 | 行を削除するには、行を選択して右クリックし、 行の削除 をクリックします。 |
| 連続するバッチが同じデータファイルにデータを保存すると、ピークスプリットが失敗し、自動処理が失敗します。 (ONYX-6904) | ピークスプリットは、データが取得された後に実行されます。前の取得中にファイルに書き込まれたピークをシステムが分割している間に、後続のバッチがデータをファイルに取得している場合、リソースの競合が発生します。この問題を回避するには、各バッチのデータを個別のデータファイルに書き込みます。 |
| 以下の制限が適用されます。 <ul style="list-style-type: none"> Echo[®] MS システムの使用時に決定ルールが正しく機能しません。 Echo[®] MS システムを使用する構成では LC システムを使用できません。 Echo[®] MS システムが設定されている場合、MS チューンワークスペースを使用できません。 (ONYX-10636) | <ul style="list-style-type: none"> Echo[®] MS システムが SCIEX OS で設定されている場合は、決定ルールを使用しないでください。 Echo[®] MS システムがアクティブな時は、LC システムをアクティブにしないでください。 MS チューン Echo MSEcho[®] MS ワークスペースでチューニングを行わないでください。 <p>SCIEX 6500+システムのチューニングは、IonDrive Turbo V イオン源および関連付けられたプローブを使用して実行されます。</p> |

使用上の注意と既知の問題

| 問題 | 注意事項 |
|--|--|
| <p>ユーザーが[プレートレイアウト]ダイアログを使用してバッチワークスペースにウェル位置を入力すると、ウェル位置が入力されない場合があります。この問題は、次の条件下で発生する可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none">ユーザーが SCIEX OS を開いた後でバッチワークスペースを初めて開く時。ユーザーが空のバッチでウェル位置にデータを入力しようとした時。 <p>(ONYX-12525)</p> | <p>問題が発生した場合は、次のいずれかの操作を行います。</p> <ul style="list-style-type: none">ソフトウェアを閉じてから再度開きます。保存したバッチを開き、Plate Layout ダイアログを使用して、そのバッチのウェル位置を更新します。 |
| <p>ユーザーがプレートレイアウトダイアログですべて削除をクリックすると、ソフトウェアの応答が非常に遅くなります。</p> <p>(ONYX-12726)</p> | <p>パフォーマンスを改善するには、バッチワークスペースグリッド内のウェルを削除します。グリッド内のウェルを選択し、右クリックして切り取りを選択します。</p> |
| <p>予測開始時間ワークスペース内のキューは、AE サンプルについては更新されません。(OPP-421)</p> | <p>ユーザーインターフェースのみの問題です。システムの機能は影響を受けません</p> |
| <p>新規インストールの直後にサポートパッケージが生成された場合、または日付範囲が狭すぎる場合、Echo[®] MS システムのサーバー ログはサポートパッケージに含まれません。(OPP-621)</p> | <p>より広い日付範囲を指定してから、サポートパッケージを再度生成してください。</p> |
| <p>スペイン語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、ポルトガル語: SCIEX OS ソフトウェアの Region and Language Settings が小数点区切り文字としてカンマ「,」を使用するように設定されている場合、ユーザーが AE メソッドのエジェクション量(nL)フィールドに値を入力すると、検証エラーが表示されます。(OPP-671)</p> | <p>上下の矢印を使用して音量を変更します。</p> |

ExionLC 2.0 システムの問題

| 問題 | 注意事項 |
|--|-------------|
| <p>プレートレイアウトダイアログでは、サンプルは「1 回使用」、「複数回使用」、または「未使用」としてマークされません。</p> <p>(ONYX-8757)</p> | <p>該当なし</p> |

| 問題 | 注意事項 |
|---|---|
| プレートレイアウトダイアログが開いているときにユーザーがバッチワークスペースのラックタイプを変更しても、プレートレイアウトウィンドウのラックタイプは更新されません。(ONYX-8760) | ラックタイプワークスペースでプレートレイアウトダイアログが開いているときにユーザーがバッチグリッドでバッチを変更すると、プレートレイアウトのバイアルレイアウトの視覚的表現は更新されますが、ラックタイプフィールドは更新されません。ただし、ラックタイプおよびバイアル位置を含むバッチ内のすべての情報は正しいです。この問題を回避するには、バッチグリッドでラックタイプを変更する前に、プレートレイアウトダイアログでラックタイプを変更するか、プレートレイアウトダイアログを閉じてください。 |
| デバイス詳細ダイアログの複数のインスタンスを同時に開くことができます。(ONYX-9049) | デバイス構成を変更したときにデバイス詳細ダイアログが開いていると、新しい構成でデバイス詳細ダイアログの別のインスタンスを開いた後でも、古い構成のデバイス詳細ダイアログが開いたままになります。この問題は、使用方法に影響を及ぼしません。ただし、混乱を避けるために、デバイス構成を変更する前に、開いているデバイス詳細ダイアログをすべて閉じてください。 |
| Solvent Levels パネルでのパラメータの変更は保存されません。(ONYX-9093) | Solvent Levels パネルでパラメータを変更した後、ステータスが更新されるまで 5 秒待ってから、追加の変更を行います。 |

ExionLC AC、ExionLC AD、および Shimadzu LC システムの問題

| 問題 | 注意事項 |
|---|--|
| PDA 検出器を備えたハードウェアプロファイルが有効化されると、LC メソッドの検出器のデフォルトは、新しく作成された LC メソッドと、同じ LC で以前に作成されたが PDA 検出器が有効化されていないオープン LC メソッドとで異なります。(ACQ-2176) | 問題の発生を回避するには、PDA 機器に正しいパラメータが使用されていることを確認してください。 |
| すすぎサイクルの開始時または終了時にすすぎ溶媒がなしに設定されている場合、すすぎは行われません。(BLT-1212) | すすぎサイクルの最初と最後の溶媒の値がなし以外であることを確認します。 |
| スタンバイ状態になった後、またはシステムが停止した後、最後の平衡化手順または LC メソッドで設定された温度に戻ります。(BLT-2300) | 該当なし |

使用上の注意と既知の問題

| 問題 | 注意事項 |
|---|--|
| Shimadzu LC-40 システム: 自動的に入力される LC メソッドのフィールドの内容は、レポートに出力されません。(BLT-2850) | 自動的に入力された内容を、値を入力して置き換えます。 |
| Nexera Mikros システム: LC ポンプは、最大圧力限界に達しても故障状態にはならない。(ONYX-7794) | 該当なし |
| Nexera Mikros システム: LC ポンプは、デバイス構成で LC-20AB ポンプとして誤って識別される。(ONYX-8030) | LC システムのパフォーマンスは影響を受けませんが、ポンプはデータファイル、ログ、および監査証跡で誤って識別されます。 |
| Shimadzu LC-40 システム: プレートレイアウトダイアログで、ユーザーが複数のプレートでラックタイプを構成している場合、プレートの構成を終了して次のプレートを選択すると、構成されたプレートの名前が <未割り当て> に変わる。(ONYX-8441) | バッチを保存して再度開き、プレートレイアウトダイアログにプレート名を正しく表示します。 |
| Nexera Mikros システム: ユーザーが LC ポンプの流量を有効な範囲外の値に設定すると、ドライバーは流量を最小値または最大値のいずれか近い方に設定します。SCIEX OS ソフトウェアには通知は表示されません。(ONYX-18416) | 該当なし |
| Nexera Mikros システム: SCIEX OS ソフトウェアは LC ポンプの実際の流量を表示しません。(ONYX-18418) | ポンプの前面パネルで流量を確認します。 |
| Shimadzu システム: ユーザーが指定した注入量が無効な場合、サンプルは失敗しますが、SCIEX OS フトウェアはエラーメッセージを表示しません。(ONYX-19857) | サンプルが失敗した場合は、注入量が有効であることを確認してください。 |
| Shimadzu systems: オートサンプラーはサンプルを注入せず、オートサンプラーのステータスが Waiting for Oven から Running に変わります。(ONYX-31947) | この問題を防ぐには: <ul style="list-style-type: none"> • バッチ内の Column oven 温度を変更しないでください。 • 異なるバッチに異なるカラム温度を必要とする LC メソッドが含まれている場合は、バッチ間で単一サンプル バッチを使用してカラム温度を変更します。 |
| Shimadzu システム: SIL-40 オートサンプラーを ACMP オートサンプラーに交換した後、LC メソッドを開くとエラーメッセージが表示されます。(ONYX-32320) | 新しい構成に対して新しい LC メソッドを作成します。 |

| 問題 | 注意事項 |
|---|---|
| Shimadzu LC-40 システム: 障害以外のメッセージのタイムアウトはありません。 (ONYX-32741) | 障害以外のメッセージが発生した場合は、ユーザーの操作が必要です。たとえば、AS:No Rack というメッセージが表示された場合、ユーザーはオートサンプラードロワーを閉じるか、メソッドを中止する必要があります。 |
| Shimadzu LC-40 システム: リンスポートのパージイベントがデバイスの制御ダイアログに表示されません。 (ONYX-32802) | 該当なし |

M5 MicroLC および M5 MicroLC-TE システムの問題

| 問題 | 注意事項 |
|--|--|
| カラムオープンがデバイスワークスペースで設定されていても、勾配ポンプに物理的に接続されていない場合、取得は平衡状態または負荷状態のままになります。 (MRC-397) | カラムオープンが勾配ポンプに物理的に接続されていることを確認します。 |
| トレイ構成に加えられた変更は、デバイスがアクティブ化された後、バッチワークスペースに表示されます。(MRC-435) | トレイ構成を変更したら、構成ワークスペースで装置を非アクティブにしてからアクティブにします。 |
| ダイレクトコントロールで指定した値は保持されません。(MRC-429) | 該当なし |
| システムへの接続が失われると、オートサンプラーは準備状態のままになります。 (MRC-444) | 該当なし |
| 新しいトラップ溶出 LC メソッドを作成すると、メソッドが保存されるまで、 LC Pump for Analytical Separation フィールドは空のままになります。(MRC-450) | 該当なし |
| ソフトウェアは、LC メソッドの First, establish a column pressure of ## psi フィールドの設定値を検証しません。 (MRC-451) | 入力したカラム圧力値が装置でサポートされている値を超えていないことを確認してください。 |
| LC メソッドの勾配グラフで、グラフや凡例が正しく表示されないことがあります。 (MRC-452) | LC メソッドを閉じてから再度開きます。 |

Waters LC システムの問題

| 問題 | 注意事項 |
|---|--|
| SCIEX OS ソフトウェアの Waters Acquity システムを使用してデータを取得した場合、そのデータを Analyst ソフトウェアで処理することはできません。(BLT-5087) | Analyst ソフトウェアは、データ ファイルに保存されているラックコードの文字数をサポートしていません。SCIEX OS ソフトウェアを使用して、Waters Acquity システムで取得したデータを処理します。 |
| エクスプローラワークスペースに表示されるサンプル情報ペインに LC デバイスのプロパティとメソッドの情報がありません。(ONYX-11604) | 該当なし |
| LC メソッドのパラメータは、Waters Support Layer 1.1 が使用されている場合は保存されません。(ONYX-20524) | Waters Support Layer 1.2 にアップグレードします。 |
| 他の LC メソッドが開いている場合は、LC メソッドを作成できません。(ONYX-21110) | 別の LC メソッドが開いているときに LC メソッドが作成された場合、新しい LC メソッドのウィンドウは空です。 他のすべての LC メソッドを閉じます。新しい LC メソッドのウィンドウが更新され、メソッドパラメータが表示されます。 |

取得における問題

| 問題 | 注意事項 |
|---|--|
| スタンバイを選択すると、Harvard シリンジポンプが故障状態になります。(ACQ-2193) | この問題を回避し、エラーをクリアするには、Direct Control 機能を使用してシリンジを起動します。 |
| X500 QTOF システムと ZenoTOF 7600 システム:MRM ^{HR} 質量表メソッドの場合、の列が印刷されない。(ACQ-2611) | 以下を実行すると、UI に表示された列の一部がメソッドのプリントアウトに表示されません。 <ul style="list-style-type: none"> MRM^{HR} メソッドを作成する。 スキャンスケジュールを適用する。 拡張パラメータを選択して表示する。 メソッドを保存してから印刷する。 <p>この問題を回避するには、Letter サイズより大きい用紙サイズを選択します。</p> |

| 問題 | 注意事項 |
|---|--|
| <p>(X500 QTOF システム) 手動チューニングでは、キャリブレーションサンプルなし(つまり、CDS または LC 自動キャリブレーションなし)でバッチを送信すると、手動の MS メソッド取得によるイオンが最初のサンプルとバッチ内にある後続のすべてのサンプルのサンプル間 DBC 参照リストとして使用される。手動取得に使用した MS Method とバッチで送信した MS Method の間で質量範囲、極性などに不一致がある場合は、バッチ内にあるすべてのサンプルの質量精度ドリフトにより、サンプル間キャリブレーションが失敗する。(ACQ-2834)</p> | <p>問題を回避するには、次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> MS メソッドワークスペースで手動取得を完了してから、キャリブレーションサンプルなしでバッチを送信すると、サンプル間キャリブレーションは予測どおり機能します。バッチ内の最初のサンプルは、後続のサンプルをキャリブレーションする参照リストを生成するために使用されます。 手動取得中にキャリブレーションサンプルを使用してバッチを送信すると、サンプル間キャリブレーションは質量精度ドリフトが観察されずに予測どおり機能します。 |
| <p>取得メソッドおよび処理メソッドからのインポート中に一貫性のない動作が発生し、そのために信頼性の低い評価結果が生成される。(BLT-284)</p> | <p>取得メソッドからインポートされる情報は、小数第 2 位までの質量精度で示されます。処理メソッドの質量精度の計算に使用される式では、小数第 4 位までの結果が生成されます。そのため、この 2 つのメソッドからは一貫性のない結果が提示されることがあります。</p> |
| <p>DAD パネルのリアルタイム更新が、メソッドで選択された応答時間よりも遅いことがある。(DS-853)</p> | <p>この問題を回避するには、DAD 取得の頻度を下げるか、取得の完了後にデータを点検します。</p> |
| <p>ZenoTOF 7600 システム: EAD フラグメンテーションモードでは、データは取得されません。(MSCS-2527)</p> | <p>EAD フラグメンテーションを使用する場合は、蓄積時間が反応時間以上である必要があります。使用しない場合は、データが取得できません。この問題を解決するには、蓄積時間を増やします。</p> |
| <p>X500 QTOF および ZenoTOF 7600 システム: 質量欠損 IDA 基準で、負質量欠損値が正しくない記号で表示される。(MSCS-2537)</p> | <p>アルゴリズムは正しいプリカーサーを選択するため、取得されたデータは正しいです。</p> |
| <p>ZenoTOF 7600 システム: SCIEX OS ソフトウェア 2.1.6 以前で取得した <code>wiff</code> データファイルを、それ以降のバージョンのソフトウェアで開くと、グラフタイトルに誤ったフラグメンテーションモードが表示される場合があります。(MSCS-2945)</p> | <p>この問題は、MRM^{HR} アルゴリズムメソッドまたは混合フラグメンテーションモード (EAD/CID) の MRM^{HR} アルゴリズムメソッドを使用する <code>wiff</code> データファイルで発生します。</p> |
| <p>IDA 取得時に潜在的延長時間がランダムサイクルに追加される。(ONYX-1764)</p> | <p>問題を回避するには、IDA を実行する前に、Google 更新サービス (<code>gupdate</code> および <code>gupdate.m</code>) (システム上に存在する場合) および Windows Backup が無効になっていることを確認してください。</p> |
| <p>バッチを <code>pdf</code> に印刷すると、列見出しまたは本文セルのいずれかの数値がドキュメントから欠落しています。(ONYX-2236)</p> | <p>XPS 形式で印刷します。</p> |

使用上の注意と既知の問題

| 問題 | 注意事項 |
|--|---|
| MS メソッドでは複数のピリオドはサポートされていません。(ONYX-4185) | 該当なし |
| Excel スプレッドシートなどのファイルから行をコピーしてから、バッチワークスペースのグリッドに貼り付けると、一部のコンポーネントがグリッドに追加されない。(ONYX-6068) | 不足しているコンポーネントを手動でバッチに追加します。 |
| バッチワークスペースの既存の行に行を貼り付けると、コンテンツが正しく貼り付けられない。(ONYX-6083) | この問題を回避するには、既存の行の上に貼り付けるのではなく、空の行を挿入してその中に新しい内容を貼り付けます。次に、既存の行を削除します。 |
| Acquisition Methods フォルダに破損した MS Method が含まれている場合、 MS メソッド ワークスペースのバッチ列で選択できる処理メソッドがない。(ONYX-6795) | MS Method のリストが空の場合は、破損したメソッドを見つけて削除します。 |
| オプション 現在のタスクが完了したら停止 でキューを停止すると、取得は完了しますが、処理は開始されません。(ONYX-6802) | 該当なし |
| キューワークスペースでは、決定ルール処理の結果として再注入されたサンプルは、元のサンプルに関連付けられた処理メソッドの名前ではなく、 列に *埋め込みメソッド* 解析メソッド と表示される。(ONYX-6896) | 最初のサンプルが処理されると、結果ファイルが作成され、 解析メソッド 列で指定された処理メソッドが新しい結果ファイルに埋め込まれます。したがって、再注入されたサンプルに指定された埋め込み方法は、最初のサンプルに指定された処理メソッドと同じです。 |
| バッチワークスペースでは、1 行または複数行をコピーして貼り付けると、一部の内容が正しく貼り付けられません。(ONYX-6995) | 正しくコピーされなかったセルを手動で更新します。 |
| IDA データの取得中に取得コンピュータが Windows リモートデスクトップで制御されている場合、取得パフォーマンスが低下し、データポイントが失われる可能性がある。(ONYX-7491) | IDA データの取得中は、リモートデスクトップを使用しないで取得コンピュータを制御しないでください。 |
| SCIEX OS ソフトで取得した <i>wiff</i> データを Analyst ソフトで開くと、Analyst ソフトの MRM 検出ウィンドウ と SCIEX OS ソフトの 保持時間許容範囲 が一致しません。(ONYX-7602) | 保持時間許容範囲 値は、 MRM ウィンドウ の計算に使用されます。この値は、検出ウィンドウのデフォルト値を示す MRM 検出ウィンドウ と同じではありません。 |
| 現在開いている <i>pdf</i> ファイルにメソッドを印刷しようとする、エラーが発生します。(ONYX-7813/ONYX-8204) | メソッドを印刷する前に <i>pdf</i> ファイルを閉じるか、別のファイル名で保存してください。 |

| 問題 | 注意事項 |
|--|--|
| <p>SCIEXQTRAP ライセンスがアクティブ化された 7500 システム:AF2 のデフォルト値は、負極性の MS³ 実験では設定できません。(ONYX-8041)</p> | <p>負極性で MS³ 実験の AF2 にデフォルト値を設定した場合、デフォルト値は保存されません。</p> <p>AF2 のデフォルト値を負極性で保存するには、最初に、負極性に必要な AF2 値で正極性を構成します。その後、負極性に変更し、デフォルト値を保存します。</p> |
| <p>Scheduled MRM (sMRM)アルゴリズムを使用する MS メソッドは、無効なメソッド時間で保存できる。(ONXY-8443)</p> | <p>スキャン時間が長すぎると、期間 sMRM が無効になる場合があります。メソッドを保存しようとする、エラーメッセージが表示され、期間フィールドにエラーアイコンが含まれます。有効なメソッドの期間を指定し、期間を不正なメソッド時間に戻してからメソッドを保存すると、メソッドは正常に保存されます。</p> <p>メソッドを保存する前に、正しいメソッド時間を決定してください。</p> |
| <p>メッセージ wiff ファイルは書き込まれません および スキャン [ランプパラメータ] は実装されていません ランプ中にイベントログに書き込まれます。(ONYX-8767)</p> | <p>wiff ファイルは、ランプ中に作成されません。wiff2 ファイルが正しく作成されます。</p> |
| <p>実験からトランジションを削除すると、MS メソッドの実験間に空白が入ります。(ONYX-9901)</p> | <p>空白を削除するには、メソッドを保存してから再度開きます。</p> |
| <p>ZenoTOF 7600 システム:PeakView ソフトウェアのサンプルのサンプル情報に表示されるサイクル数とサイクル時間は、MRM^{HR} アルゴリズムで取得された wiff ファイルに対して正しくありません。(ONYX-10623)</p> | <p>該当なし</p> |
| <p>ZenoTOF 7600 システム:wiff ファイル内のサンプルの TOF 質量キャリブレーションパラメータが wiff2 ファイル内のパラメータと一致しません。(ONYX-11356)</p> | <p>キャリブレーションパラメータは、Analyst TF ソフトウェアと SCIEX OS ソフトウェアによって異なる方法で記録されます。wiff ファイルは、Analyst TF ソフトウェアモデルに従います。</p> |
| <p>X500 QTOF システムと ZenoTOF 7600 システム:ユーザーは整数以外の値をの場合の直前の候補イオンを除外フィールドに入力できます。(ONYX-11383)</p> | <p>メソッドを保存して再度開くと、整数以外の値は「0」に置き換えられますが、整数以外の値を考慮した上で正しくデータを取得しています。</p> |
| <p>ガイド付き MRM > MRM Infusion では、ユーザーが開始をクリックすると、初期条件の設定ページのソースパラメータとガスパラメータがデフォルト値に戻ります。(ONYX-15218)</p> | <p>パラメータを再設定します。</p> |

使用上の注意と既知の問題

| 問題 | 注意事項 |
|---|--|
| <p>ZenoTOF 7600 システム: MS メソッドのワークスペースでは、MRM^{HR} 実験のために最大 2,500 のトランジションを定義することができますが、その結果、取得に時間がかかることがあります。(ONYX-16282)</p> | <p>MRM^{HR} 実験では、最大 548 の同時トランジションを定義できます。</p> |
| <p>ユーザーが手動で追加したコンポーネントを含むバッチを開くかインポートすると、標準または QC ではないサンプルの手動で追加されたコンポーネントが失われる可能性があります。(ONYX-16466、ONYX-16467、ONYX-16474)</p> | <p>手動でコンポーネントを追加したバッチを開いたり、インポートしたりした後は、すべてのコンポーネントが存在していることを慎重に確認してください。</p> |
| <p>ZenoTOF 7600 システム: Zeno しきい値 パラメータは、それが適用されない実験およびフラグメントタイプに対して有効です。(ONYX-16556)</p> | <p>Zeno しきい値 パラメータは、EAD と CID の両方のフラグメンテーションを伴う IDA 実験と、CID のフラグメンテーションのみを使用する MRM^{HR} と MSMS の実験に使用されます。ただし、Zeno しきい値 フィールドは、EAD と CID の両方のフラグメンテーションについて、すべての実験タイプで有効になります。このパラメータは、EAD フラグメンテーションを使用した MRM^{HR} および MSMS 実験のサンプル情報ペインにも表示されます。</p> <p>MRM^{HR} 実験の場合、Zeno しきい値 フィールド名は正しくありません。Zeno しきい値 (CID) である必要があります。</p> |
| <p>高質量モードのメソッドを低質量モードに変換すると、メソッドのサイクル時間が長くなります。(ONYX-18158)</p> | <p>ドゥエルタイムを短縮して補正します。</p> |
| <p>Scheduled MRM (sMRM) アルゴリズムの実験では、保持時間許容範囲を変更し、新しい行を追加し、別の MRM モードに変更してから計画的 MRMに戻した場合、保持時間許容範囲値はデフォルトではなく、変更された値になります。(ONYX-19152)</p> | <p>該当なし</p> |
| <p>質量表が並べ替えられている場合、質量表でトランジションが選択されても、sMRM プロットダイアログは動的に更新されません。(ONYX-19154)</p> | <p>sMRM プロットダイアログの動的更新を有効にするには、並べ替えをオフにします。</p> |

| 問題 | 注意事項 |
|---|--|
| <p>SCIEX OS ソフトウェア 1.6.10 で作成された sMRM アルゴリズム メソッドは、SCIEX OS ソフトウェア 3.3.1 では開けません。(ONYX-20552)</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. Turbo V イオン源など、MS メソッドで使用されるイオン源とは異なるイオン源を使用してデバイスを構成します。 2. MS メソッドを開き、再度保存します。 3. 元のイオン源でデバイスを構成します。 4. MS メソッドワークスペースを開きます。 |
| <p>同じグループ ID に属するコンポーネントのインポートされた保持時間が sMRM または Scout triggered MRM (stMRM) アルゴリズムの実験で異なる場合、検証エラーが表示されます。ユーザーが保存期間を手動で更新して同じにすると、検証エラーが続きます。(ONYX-20987)</p> | <p>インポートされた保持時間は、質量表に手動で入力された保持時間とは小数精度が異なります。保存期間を入力する代わりに、保存期間をコピーして貼り付けるか、下方向にコピー機能を使用します。</p> |
| <p>ロードアヘッド機能を使用してバッチが送信された場合、キュー構成で選択された欠落サンプルのステータスに関係なく、欠落しているバイアルが検出されるとキューが停止します。(ONYX-21006)</p> | <p>ロードアヘッドの処理中、サンプルイベントが欠落している間、キューは常に停止します。開始をクリックしてキューを開始します。</p> |
| <p>MS メソッドが実行中に保存された場合、メソッドの実行が終了または停止された後、MS メソッドワークスペースのボタンは応答しません。(ONYX-21052)</p> | <p>メソッドを閉じてから再度開きます。</p> |
| <p>QTRAP 6500+、6500、5500、5500+、および 4500 システム:Analyst ソフトウェアによって取得された、IDA データを含む wiff ファイルを SCIEX OS ソフトウェアのエクスプローラー ワークスペースで開くと、エラー メッセージが表示されます。(ONYX-21511)</p> | <p>該当なし</p> |
| <p>SCIEX OS ソフトウェアによって保存された wiff ファイルには、wiff 2 ファイルに含まれる質量解析情報が含まれていません。(ONYX-22804)</p> | <p>該当なし</p> |
| <p>ガイド付き最適化 - MRM Infusion ページの初期条件の設定に無効な値が設定され、有効な値が入力されたにもかかわらず、開始ではなく次へをクリックすると、無効な値がレポートに表示されます。(ONYX-23639)</p> | <p>パラメータ値を修正した後は、必ず開始をクリックしてください。</p> |

使用上の注意と既知の問題

| 問題 | 注意事項 |
|--|--|
| 複数の Scheduled MRM (sMRM)または Scout triggered MRM (stMRM)アルゴリズム実験を含む MS メソッドの最初の実験を削除した後、質量表に変更が加えられても sMRM プロットダイアログは更新されません。(ONYX-23756) | 更新が必要になるたびに、sMRM プロットダイアログを閉じてから開きます。 |
| ユーザーインターフェース言語を英語以外の言語に変更すると、バッチワークスペースグリッドの列の幅が最小化されます。(SXOSLNT-900) | 列のサイズを手動で調整します。新しい列のサイズは、次に言語が英語以外の言語に変更されるまで維持されます。 |
| SCIEX OS ソフトウェアが中国語用に構成されている場合、ユーザーが MS メソッドワークスペースで New > Guided Optimization > MRM FIA を選択すると、エラーが表示されます。(SXOSLNT-2088) | 別の言語に変更するか、手動で最適化してください。 |

MS チューンワークスペースの問題


| 問題 | 注意事項 |
|--|--|
| X500 QTOF システム: 手動チューニング中、 設定を保存 をクリックしても最適化されたパラメータ値がファイルに保存されない。(ACQ-2519) | 手動チューニング中は、最適化されたパラメータ値が保存されません。問題を回避するには、手動チューニングモードでチューニング手順をすべて完了します。 |
| (ZenoTOF 7600 システム)MS チューンワークスペースでキャリブレーションが完了してから約 5 分以内に質量分析装置の電源を切ると、キャリブレーション設定は失われ、以前に保存されたキャリブレーション設定が復元されます。(MSCS-2627) | チューニング手順を再度実行してください。 |
| SCIEX OS ソフトウェアが長期間アイドル状態になると、MS チューンワークスペースのコントロールが断続的に使用できなくなります。(ONYX-30669) | デバイスワークスペース内のデバイスを非アクティブにしてからアクティブにします。 |
| ソフトウェアのユーザーインターフェースが簡体字中国語用に設定されている場合、チューニング手順のレポート作成ステップ中にエラーメッセージが表示されます。(SXOSLNT-1672) | ユーザーインターフェースを英語に設定し、ソフトウェアを一旦閉じて開き、手順をやり直してください。 |

| 問題 | 注意事項 |
|---|--|
| ユーザーが MS チューンワークスペースの高度なトラブルシューティング関数のメソッドの編集ダイアログでスキャンレートを変更しても、メソッドパラメータは既定値に更新されません。(TUN-7869) | メソッドの開始 をクリックしてメソッドを実行します。パラメータが更新されます。 |

アナリティクスワークスペースの問題

| 問題 | 注意事項 |
|---|--|
| 別のコンピュータ上で実行されている Analyst ソフトウェアがネットワーク経由でそのファイルのデータを取得しているときに、ネットワーク上の <code>wiff</code> ファイルを処理すると、SCIEX OS ソフトウェアが応答しなくなります。(BLT-2873) | SCIEX OS ソフトウェアはこのワークフローをサポートしていません。 |
| CSV レポートは、グラフィックやロゴをサポートしていない。(MQ-1361) | CSV レポートは、図が含まれない場合のみサポートされます。 |
| Positive Hit template を使用して 2,500 行を超える定量テーブルから保護された pdf レポートを作成するために PDFFactory を使用すると、ソフトウェアが応答しないように見える。(MQ-1896) | レポートの作成には、ある程度時間がかかります。PDFFactory の進行状況ウィンドウは常にバックグラウンドで表示され、pdf の作成が進行中であることを示します。PDFFactory の進行状況ウィンドウを表示させるために、SCIEX OS を含むすべてのウィンドウを最小化できます。 |
| IS の名前 は、メソッド エディタの成分テーブルに貼り付けることはできません。(MQ-2193) | 問題を回避するには、 IS の名前 を手動で選択するか、 IS 列を個別に貼り付けます。 |
| UV、DAD、ADC データ上で AutoPeak 積分アルゴリズムを使用した場合、処理前にモデルが構築するのに長い時間がかかる。(MQ-4421) | ピーク形状が良くない UV/DAD/ADC データに対しては、AutoPeak 積分アルゴリズムを使用しないでください。 |
| 定量テーブルの 適用列 は ブランク でフィルタリングできません。(MQ-4827) | IS の濃度列 をフィルタリングしてテキストのないすべての行を表示するか、 成分名列 をフィルタリングして内部標準の名前を非表示にします。 |
| MultiQuant ソフトウェアで作成したフラグメント情報付きの SWATH 取得データを含む処理メソッドは、SCIEX OS ソフトウェアにインポートできません。(MQ-6147) | フラグメント情報を手動で追加します。 |

使用上の注意と既知の問題

| 問題 | 注意事項 |
|---|---|
| Mass Reconstruction ワークフローでは、定量テーブルに報告された信号対雑音 (S/N) 値が、再構成されたピークに対して正しく計算されない。(MQ-7073) | <p>S/N を計算するには、エクスプローラワークスペースで平均 m/z スペクトルを開き、手動で再構成を行い、ターゲットピークの S/N を計算します。</p> <p>注: この回避策には、Bio Tool Kit ライセンスが必要です。</p> <ol style="list-style-type: none"> ピークレビュー ペインで平均スペクトルを選択します。  (データ探索を開いてリアルタイム データを表示する) をクリックします。 Bio Tool Kit > タンパク質の再構築 をクリックし、分解能値を入力し、再構成パラメータを指定して、再構成を実行します。 S/N を手動で計算します。『ソフトウェアユーザーガイド』のドキュメントの『グラフ選択情報の表示』を参照してください。 |
| 計算列の名前を関数名と同じにすることはできません。(MQ-8087) | 関数名と一致しない名前を付けてください。 |
| 統計 ペインに表示されるパーセント CV は、GETSTAT 関数で計算されたパーセント CV とは異なります。(MQ-8211) | GETSTAT 関数は 実際の濃度値 を使用して複製を識別しますが、統計ペインはユーザー指定の 数値形式 が適用された後に 実際の濃度値 を使用します。たとえば、 数値形式 が 0.00 に設定されている場合、5.001 の濃度は統計パネルで 5.00 として扱われます。 |
| ソフトウェアは、 外れ値の理由列 または 外れ値の理由列 に基づく計算列に基づくフラグ設定ルールをサポートしていません。(MQ-8295/MQ-8381) | 外れ値の理由列 を使用するフラグ設定ルールを作成しないでください。 |
| カスタムの式に基づいて列にメトリックプロットを適用した場合、式の入力を変更してもすぐにはメトリックプロットペインに反映されません。(MQ-8524) | メトリックプロットを更新するには、定量テーブルで別のコンポーネントを選択した後、元のコンポーネントを再度選択します。 |
| 取得日付と時刻列が式で正しく処理されません。(MQ-8662) | 式で 取得日付 と 時刻列 を使用しないでください。 |
| 数式エディタは、式の中でアンパサンド (&) とバー () が正しく使われていなくても、それを識別しません。(MQ-8837) | ブール値の AND を表すには、"&&"を使用します。ブール値の OR を表すには、" "を使用します。 |

| 問題 | 注意事項 |
|--|---|
| 自動処理されたサンプルは、SCIEX OS ソフトウェアの以前のバージョンで作成された定量テーブルには追加されません。(MQ-9627) | この問題は、サンプルがソフトウェア アップグレードと同じ日に自動処理される場合に発生します。アップグレードの 1 日後まで待ってから、以前のバージョンで作成された結果ファイルにデータを追加してください。 |
| 結果 > 新規 コマンドで処理メソッドを作成した場合、処理メソッドが MQ4 または合計アルゴリズムを使用し、ワークフローページで参照サンプルが変更された場合、積分ページは更新されません。(MQ-10287) | 該当なし |
| 処理メソッド エディタで、ユーザーがセクション間または積分セクション内のコンポーネント間を移動すると、保存されたメソッドの印刷ボタンが非アクティブになる場合があります。(MQ-10346、MQ-10356、MQ-10583) | この問題を回避するには、別のセクションに移動する前に、ワークフローセクションからメソッドを印刷します。問題が発生した場合は、メソッドを保存するか閉じてから、メソッドを再度開いて、メソッドを印刷します。 |
| プリントアウトで定義済みのフラグ設定ルールに対して一貫性のない情報が表示されます。(MQ-10342) | 定性ルール チェックボックスが選択されていて、列が選択されていない場合、 定性ルール はプリントアウトに含まれません。 |
| 印刷中にネットワークが切断されると、次のメッセージが表示されます。RPC サーバーが利用できません。(MQ-10598) | コンピュータがネットワークに接続されていることを確認します。 |
| 編集集中で保存されていないメソッドを印刷する場合、印刷にはメソッドの最後に保存されたバージョンが含まれます。(MQ-10758) | アクティブなメソッドを印刷するには、まずメソッドを保存します。 |
| 英語のユーザインターフェースと組み合わせたルールを作成し、中国語用に SCIEX OS ソフトウェアを設定すると、組み合わせたルールにエラーメッセージが表示されます。(MQ-10855) | 事前定義されたフラグ ルールの名前はソフトウェアで変換されますが、結合されたルールでは変換されません。中国語で新しい結合ルールを作成します。 |
| 式名に角括弧 ([]) が含まれている場合、ソフトウェアは式が無効であると報告します。(MQ-10868) | 式名には角括弧を含めないでください。 |
| 地域設定が英語に設定されていて、ユーザーがバーコード列にコンマ(1,3 など)で区切られた 2 桁の数字を入力すると、コンマがピリオドに変更され、数字 (13.000) の後に置かれます。(MQ-11028) | バーコード列のエントリには形式 n, n を使用しないでください。 |
| 条件付き検索行の入力値が空の場合、定量テーブルの条件付き検索列に不正な値が表示されます。(MQ-11207) | 該当なし |

使用上の注意と既知の問題

| 問題 | 注意事項 |
|--|--|
| カスタム列名に角括弧 ([]) が含まれている場合、エラーが表示されます。(MQ-11216) | カスタム列名には角括弧を含めないでください。 |
| SCIEX OS ソフトウェアのインストール後は、アナリティクスワークスペースまたは LibraryView ソフトウェアで参照スペクトルを表示できません。(MQ-11242) | LibraryView サービスを停止し、再度開始します。 |
| 地域の設定を変更すると、カスタム式の数値書式は新しい地域の書式に更新されません。(MQ-11349) | 例: 次のカスタム式は、ドイツの地域設定で作成されます: IF([Retention Time] = 1,3。次に、地域設定が英語に変更されます。カスタム式は更新されません |
| 適用チェックボックスは GETSAMPLECLOSEST 関数では無視されます。(MQ-11452) | 該当なし |
| COUNT 関数を含む複雑な数式を含む計算列には、予期しない値が表示されます。(MQ-11711) | COUNT 関数によって指定された 該当なし 値は引用符で囲まれていないため、正しく処理されません。この問題を解決するには、 COUNT 関数用に別の列を作成し、その列を複合式で使用します。 |
| メトリックプロットが開いているときに定量テーブルにフィルターを適用すると、メトリックプロットペインは更新されません。(MQ-11790) | 最初にフィルターを適用してから、メトリックプロットペインを開きます。 |
| GETSAMPLE 関数は、名前の先頭または末尾にスペースがある計算列では動作しません。(MQ-11798) | 列名の先頭または末尾にスペースを含めないでください。 |
| 計算列の数値形式は、再処理後に元の値に戻ります。(MQ-11804) | この問題は、次の一連のイベントの後に発生します: 1. 計算列の数値形式が変更されます。 2. 列の式が変更されます。 3. データは再処理されます。 |
| フィルターが適用されている列の数値形式を変更すると、列のフィルター処理が正しくなくなり、列の数値形式の精度を編集できなくなります。(MQ-11876) | フィルターされた列の数値形式を変更するには、まず列からフィルターを削除します。 |
| データを LIMS からカスタム列のある定量テーブルにインポートすることはできません。また、データをカスタム列のある定量テーブルから LIMS にエクスポートすることもできません。(ONYX-15730) | 該当なし |

| 問題 | 注意事項 |
|--|---|
| Scout triggered MRM (stMRM)アルゴリズムの RT モード実験と stMRM アルゴリズムのグループ モード実験の両方で取得したデータを含む定量テーブルから生成されたレポートに、スーパーグループ ID 列の情報がありません。(ONYX-19767) | 別々の定量テーブルで異なる stMRM アルゴリズムモードで取得したデータを処理します。 |
| SCIEX OS ソフトウェアをインストールする前にコンピュータの地域設定が変更され、ユーザーがドット (.) を小数点区切り文字として使用してピークレビュー ペインの統合パラメータを更新すると、変更は保存され、結果は正しくなくなります。(ONYX-33134) | <ol style="list-style-type: none"> 1. 構成ワークスペースで、全般をクリックします。 2. Regional Settings セクションで、適用をクリックします。 3. コンピュータを再起動します。 |
| ピークレビューペインで拡大鏡ビューが有効になっている場合、ペインを印刷すると、アクティブなグラフの複数のインスタンスが印刷されます。(ONYX-33137) | 印刷する前に、拡大鏡ビューが有効になっていないことを確認してください。 |
| ChemSpider データベースにはプロキシサーバーからアクセスできません。(PV-632) | 該当なし |

エクスプローラワークスペースの問題

| 問題 | 注意事項 |
|--|--|
| エクスプローラワークスペースで大量のデータまたは複数のデータファイルを処理すると、ユーザーフェイスが応答を停止し、サンプルキューが次のサンプルに移動するまでに遅延が生じることがある。(BLT-719) | この問題が発生した場合は、Explorer ワークスペースで処理が完了するのを待つか、データ取得中に大量のデータを処理しないようにします。 |
| エラーは、要求されたアクションを完了できませんでした。データが完全であり、すべてのフィールドに適切な値が含まれていることを確認してください フォーミュラファインダに表示されます。(BLT-1423) | このエラーは、選択されたイオンの構造が Formula Finder で予測されたもので、フォーミュラファインダ設定ダイアログの元素化学式タブの正イオンのリストに含まれていない場合に発生します。たとえば、 m/z 1004 のイオンの場合、Formula Finder は $(M + NH_4)^+$ に一致します。このイオンが検索する陽イオンのリストに含まれていない場合、一致するものが見つからないとエラーが発生します。 |

使用上の注意と既知の問題

| 問題 | 注意事項 |
|---|---|
| <p>取得中にユーザーがデータを検索すると、以下の問題が発生する可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> スケジュールされたスキャンの抽出イオンクロマトグラム (XIC) およびベースピーククロマトグラム (BPC) がスケジュールされた時間より前に生成された場合、リアルタイム データは取得後のデータと一致しません。(DS-903) エクスプローラワークスペースで 次に移動 または 前に移動 を使用して MS 実験を切り替え、リアルタイムで生成された XIC または BPC を表示すると、XIC/BPC ペインには 1 つのポイントのみが表示されます。 | <p>この問題を回避するには、以下の手順に従います。</p> <ul style="list-style-type: none"> 取得後の XIC/BPC を生成します。 ファイル > XIC の表示 をクリックして、必要な実験の XIC を生成します XIC パネルを閉じて再度開きます。 |
| <p>エクスプローラワークスペースで、Detector Optimization データが正しく表示されない。(DS-1044)</p> | <p>Z 軸(検出器の電圧)のラベルが不正確になっています。問題を回避するには、検出器の最適化レポートレポートまたはデータ取得パネルを使用して、検出器最適化プロセス中に取得されたデータを検査します。</p> |
| <p>Analyst ソフトウェアデータでは、LIT スキャンにおいて Q3 分解能が最大として報告される。(DS-2220)</p> | <p>Analyst ソフトウェアの Explore モードでデータを開きます。</p> |
| <p>ループ Scout triggered MRM (stMRM) アルゴリズム実験のデータがエクスプローラワークスペースで開かれている場合、トランジションの強度がゼロ(つまり、真のシグナルまたはトリガーされていない)の場合、依存するトランジションの XIC は空白になります。(ONYX-19875)</p> | <p>依存トランジションのデータはエクスプローラワークスペースに表示されませんが、取得されています。これは単なる表示エラーです。</p> |
| <p>極性は同じだが分解能設定が異なる実験が含まれるループ実験では、サンプル情報 ペインのキャリブレーション表に表示される情報が正しくありません。(ONYX-21279)</p> | <p>サンプル情報ペインには、最初の実験の 2 番目の実験のキャリブレーションと分解能の表も示されています。</p> <p>正しい情報が監査証跡に記録されます。</p> |
| <p>MRM^{HR} データを含む複数の実験データの場合、MRM^{HR} TIC から開始して個々の実験の TIC を開き、すべてのオーバーレイを処理しますか? オプションを使用して XIC トレースを開くと、オーバーレイされた XIC は正しくありません。(PV-1086)</p> | <p>各 XIC を別のパネルで開き、XIC をオーバーレイします。</p> |

レポーターの問題

| 問題 | 注意事項 |
|--|---|
| UV MS Qual Report テンプレートでは、ピークレビュー UV タグに対して次のメッセージが表示されます。画像:Peak Review UV が空です。(BLT-3293) | 画像はレポートに正しく表示されます。 |
| PDFFactory で生成されたレポートに、メソッド名、サンプル名、サンプル ID、バーコードなどを示す数値が含まれていない(その名前が番号である場合)。(ONYX-2236) | 問題を回避するには、PDFFactory オプションではなく、XPS オプションを使用して印刷します。 |
| レポートテンプレートから各サンプルについてタグを削除すると、元に戻すことはできません。(RPT-21) | レポートをもう一度作成してください。 |

ライブラリワークスペースの問題

| 問題 | 注意事項 |
|--|--|
| 非常に大きなスペクトルが LibraryView ソフトウェア データベースに追加されると、重複する化合物名が削除される場合があります。(BLT-3291) | 5,000 ポイントを超えるスペクトルを追加しないでください。 |
| ライブラリファイルがインポートできない、またはインポートに時間がかかります。(LBV-1011、LBV-1012) | ライブラリ ファイルをローカルドライブにコピーし、ローカルドライブからインポートします。 |

MS FW Updater に関する問題

| 問題 | 説明 |
|---|---|
| MS FW Updater ユーティリティが DVD から実行できない。(BLT-597) | 質量分析装置のファームウェアを更新するには、FirmwareUpdater フォルダを D:\ドライブにコピーし、その場所からユーティリティを実行します。 |

Method Converter に関する問題

| 問題 | 説明 |
|--|--------------------|
| 高質量モードのメソッドを低質量モードに変換すると、メソッドのサイクル時間が長くなります。(ONYX-18158) | ドゥエルタイムを短縮して補正します。 |

使用上の注意と既知の問題

| 問題 | 説明 |
|--|---|
| メソッドが SCIEX OS ソフトウェアから Analyst ソフトウェアに変換されると、衝突エネルギー パラメータは自動的に調整されますが、警告は表示されません。 (ONYX-22095) | SCIEX OS ソフトウェアのメソッドが Analyst ソフトウェア内の別の質量分析装置用に変換されるときに発生します。このメソッドを使用する前に、パラメータが正しいことを確認してください。 |
| 変換されたメソッドを使用して SCIEX OS ソフトウェアによって取得されたデータが ProteinPilot ソフトウェアで処理するために開かれる場合、データに表示される装置モデルの名前は、元のメソッドの装置モデルの名前になります。(ONYX-30799) | すべての装置が同じ処理パラメータを使用するため、結果は正しくなります。 |

ライセンスサーバーの問題

| 問題 | 説明 |
|--|--|
| この Flexera Licensing Server が他の製品に使用されている場合、SCIEX ベンダー デーモンは実行できません。 (BLT-3318) | この Flexera Licensing Server では、同じサーバー上の異なるインスタンスで同じベンダー デーモンを同時に実行することはできません。この Flexera Licensing Server が SCIEX 以外の他の製品に使用されている場合は、SCIEX ベンダー デーモンと同時使用ライセンスを既存の Flexera Licensing Server に追加します。 |

お問い合わせ先

お客様のトレーニング

- 北米: NA.CustomerTraining@sciex.com
- ヨーロッパ: Europe.CustomerTraining@sciex.com
- ヨーロッパおよび北米以外: sciex.com/education

オンライン学習センター

- [SCIEX Now Learning Hub](#)

SCIEX サポート

SCIEX およびその代理店は、十分に訓練を受けた保守/技術専門要員を世界中に配置しています。システムまたは起こり得る技術的問題に関するご質問にお答えします。詳細な情報については、SCIEX web サイト (sciex.com) を参照するか、以下の連絡先までお問い合わせください。

- sciex.com/contact-us
- sciex.com/request-support

サイバーセキュリティ

SCIEX 製品のサイバーセキュリティに関する最新のガイダンスについては、sciex.com/productsecurity を参照してください。

ドキュメント

このバージョンのドキュメントは、以前のすべてのバージョンのドキュメントに優先します。

このドキュメントを電子的に閲覧するには Adobe Acrobat Reader が必要です。最新バージョンをダウンロードするには、次にアクセスしてください <https://get.adobe.com/reader>。

ソフトウェア製品のドキュメントについては、ソフトウェアに付属のリリースノートまたはソフトウェアインストールガイドを参照してください。

ハードウェア製品のマニュアルについては、システムまたはコンポーネントに付属の説明書を参照してください。

ドキュメントの最新版は SCIEX の web サイト (sciex.com/customer-documents) で入手できません。

注: このドキュメントの無料の印刷版を請求するには、sciex.com/contact-us までお問い合わせください。
